

# スカウトみやぎ



2019 / 3. 1  
No.49



## 激励のことば

ボーイスカウト宮城県連盟  
連盟長 村井嘉浩

本日はスカウトの皆さんにお会いすることができ、大変うれしく思います。指導者の皆様におかれましては、日頃、県内のスカウト活動と、青少年の健全育成に御尽力いただいていることに感謝申し上げます。

ボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウトの皆さんに顕彰・表敬記念品を授与させていただきました。皆さんが、日頃の活動を地道に続けてきた



きた努力が、このようなすばらしい結果につながったものであります。スカウトの皆さんにおかれましては、今後もスカウト技術の向上やボランティア活動に励み、自己研鑽に努めてください。

保護者の皆様、この度のお子さんの受章おめでとうございます。このようなすばらしい章を受章されましたのも、御家族の支えがあればこそです。是非これからもお子さんを見守り、寄り添い励ましていただきますよう、お願いいたします。

本年度は、8月に第17回日本スカウトジャンボリーが石川県珠洲市で開催され、本県からも小学6年生から高校3年生までのスカウトと指導者計122人が参加しました。

そこでは、スカウトスキルを競う「ジャンボリーゲーム日本一章」が今大会から初めて行われると聞き、7月の結団式では私から「日頃培ったスカウトスキル、そしてチームワークを発揮してジャンボリーゲーム日本一章を目指してください」と激励させていただきました。結果、見事にコンパベンチャー6人班部門において、泉第1団・塩釜第1団おにぎり班が「ジャンボリーゲーム日本一章」を受章されました。「日本一」大変おめでとうございます。

また、9月には「ボーイ&ガールスカウト交流会」を初めて開催し、ボーイスカウト、ガールスカウト91人を含む185人が体験活動をとおして、交流を深めることができたという報告を受けております。ボーイスカウトとガールスカウトの活動の共有やお互いの活動の良さを知る機会となったことは、今後のスカウト活動の参考になったことと思います。

連盟の皆様におかれましては、今後も意義あるスカウト活動を展開され、宮城の青少年の健全育成のためにさらに御尽力いただきますことを期待し、激励のことばといたします。

# 連盟長表敬訪問を終えて

塩釜第1団 ボーイ隊 加藤寿哉



平成30年12月26日、隼・菊章の精励スカウト、海外派遣日本代表の方々と共に、僕は宮城第2隊おにぎり班として、第17回日本スカウトジャンボリーでの報告をするために連盟長である村井知事を表敬訪問させていただきました。

昨年8月に、石川県珠洲市で開催されたジャンボリーで、初めて行われたプログラム「ジャンボリーゲーム日本一章」という競技がありました。それは手旗信号・ロープ結び・火起こし・コンパスの4種目でした。

僕たちおにぎり班は「コンパスナビゲーション」競技に挑戦しました。班員の一致団結の成果、この競技で僕たちの班は「日本一」になることができました。

この「日本一」受章の報告発表をすることになり、テレビでしか見たことのない特別会議室に入りとても緊張してしまいました。そこへ連盟長が入室され僕の正面に着席されました。あまりの緊張で僕はうまく話すことができませんでしたが、連盟長はそんな僕のたどたどしい言葉を熱心に聞いてくださいました。

そして、記念のチーフリングを頂いた時「知事も初めての時は緊張したんだよ」と優しく励ましてくださいました。

僕にとって連盟長表敬訪問は緊張の連続でしたが、とても良い経験と思い出になりました。僕も連盟長のように、人に優しく接せられるスカウトを目指して今後も活動に励んでいきたいと思いました。

## 親子で学ぶ防災「そなえよ!つねに!」

9月30日(日)、仙台市泉区寺岡市民センターにて、親子で学ぶ防災「そなえよ!つねに!」が一般の親子を対象に開催されました。メインの講師は県連理事の小山猛氏で、和田理事長にも当日駆けつけて頂き、鈴木理事と共に講師を務めました。参加した親子は5組で計13名。小学校高学年から幼児までが、ロープワークや新聞紙を使ったスリッパづくり、災害に備えて準備したいものや、非常持ち出し袋の中身を親子で話し合う「防災ゲーム」に取り組みました。参加者からは、「親子で防災について話せて良かった」「ツナ缶がロウソク代わりにするのは知らなかった」「ボーイスカウトに興味が湧きました」などの感想が寄せられました。





僕は小学校3年生から、ボーイスカウトに入団しています。きっかけは東日本大震災です。その頃ボーイスカウトがどんな活動をしているのか全く分からず興味がありませんでした。

しかし、母がポスターを見て災害や震災があった時、役にたつと入団を薦めてくれました。

スカウトの主な活動は、キャンプやハイキングなどの野外活動を行う自然体験とゴミ拾いや募金活動などの社会体験です。

この体験を小学1年生から大学生の年齢をこえたグループで行い、自主性、協調性、社会性、たくましさやリーダーシップなどを育てていきます。

世界169の国と地域が加盟しています。僕はほこりを持ってこの活動をしています。

しかし、入団して間もない頃、やめたいと思った時期がありました。原因はグループで年齢の違う人たちの中で、自分の意見を思うように話せず、また相手の意見をあまり受け入れることができないため、友達と仲良くなることができませんでした。けれども周りの仲間に励まされながら活動を続けていき、少しずつ相手を認めていく事ができるようになってきました。

そして、今年の夏、4年に1度開催される第17回日本スカウトジャンボリーに参加しました。会場の石川県珠洲市の「りふれっしゅ村」で、約1万3千人の仲間と一週間キャンプ生活をし、貴重な体験をしてきました。スカウトの活動のモットーは「そなえよ つねに」です。スカウトの様々な体験は「命を守ること」に繋がっています。

例えば手旗信号は、言葉が届かない遠くにいる人にメッセージを送ることができ、ロープワークでは危険な場所を登ったり、人を救助したりすることができます。パッキングは、災害が起きた時に衣服をジップロックのような物に入れておくことで防水ができ、仮に水が侵入しても衣服や貴重品は濡れることはありません。これらの体験は決して簡単なものではありません。でも繰り返し行うことで出来るようになりました。

僕がボーイスカウトの活動を通して学んだこと、それは仲間を信じること。そして何より自分を信じやり遂げる強い心を持ち続けることです。

モットーである「そなえよ つねに」を胸に、これからも頑張っていきたいです。

**【第15回かなん少年の主張大会】での発表を掲載しました**

## 石巻地区の活動

石巻地区創立50周年記念

スカウトラリー・記念式典

地区50周年を記念してスカウトラリーを、昨年10月14日（日）に「石巻市牧山市民の森」で行いました。所属団に関わらず参加者全員で班分けをし、それぞれの班名等を決めてスタートしました。

天候に恵まれたなか7つの課題にチャレンジしている、元気なスカウトの姿を見ることができました。

ラリー終了後は保護者が用意してくれた豚汁を美味しく頂きました。

また、11月17日（土）には、式典を「石巻かわまち交流センター」で、県連役員はじめ地区名誉顧問の皆様など、多くの方にご出席を頂き開催しました。物故者に対する黙祷・功績者への感謝状贈呈等を行い、スライドによる「石巻地区50周年の歩み」を見ながらの歓談。最後は「この道を行く」を全員で歌い大盛会で終え、60年に向かって頑張る決意を新たにしました。



## 県連主催平成30年度功労・功績者表彰受賞祝賀会

平成30年12月15日石巻市の「とり文」で開催されました。

受賞者は、文部科学省「社会教育功労者表彰」石巻第6団菅野五郎氏・宮城県「文化の日表彰」塩釜第1団横澤繁氏・宮城県教育委員会「教育功績者表彰」仙台第1団和田岑生氏、日本連盟「たか章」副連盟長芳賀文蔵氏・「かっこう章」仙台地区委員長小山猛氏、理事長和田剛和氏の6人の方々です。



祝賀会には受賞者併せて50名の皆様の参加を頂き、高橋副理事長の挨拶の後、東海林副連盟長よりご祝辞をいただき、受賞者へ記念品贈呈の後、各受賞者からご挨拶を

いただき、楽しい時間をご一緒させていただきました。

受賞者皆様これまでのご奉仕に感謝するとともに、今後も県連盟が益々活発に活動できるよう、ご指導よろしくお願いいたします。

## 県北地区の活動

県北地区は平成30年度から高清水第1団と迫第1団のふたつの団となりましたが、これまでと変わらず地区協議会で行っている行事を紹介いたします。

### ◎ 県北地区ラリー

地区で行うラリーは、全団全隊を対象とし、地区内のスカウトの交流を主な目的としています。今年度は南三陸町の「志津川自然の家」を会場に、9月22日から一泊二日で実施しました。

初日は、自然の家から釣り竿を借用し、波伝谷漁港で海釣りをしました。ドンコやメバルが釣れ、スカウトは思った以上の釣果を上げることができました。

また、夜にはキャンプファイヤーを行い、ときに和やかに、ときには静かに星空の下で楽しい時間を過ごしました。

二日目はカブとビーバーが一緒に力を合わせて野外炊飯でカレーライスを作りました。玉ねぎを切ったり、ジャガイモの皮を剥いたり、最初はおっかなびっくりでしたが、出来上がったカレーは素晴らしい出来栄で、残さずおいしくいただきました。



### ◎ 県北地区交流事業



地区交流事業も全団全隊を対象とし、スカウトが活動する様子を地域の皆様に見ていただくことを目的としています。

毎年芋煮会シーズンに合わせて実施し、今年度は栗原市瀬峰の五輪堂山公園を会場に10月7日開催しました。

活動内容はウォークラリー、芋煮づくり、川の生き物採集をスカウトと保護者が一緒に行い

ました。特に川の生き物採集は色々な魚やエビが獲れ、スカウトは自然に対する興味関心がより強くなったものと思います。

## 鹿島台第1団の活動

「第6回キッズフェスティバル鹿島台」が平成31年1月26日に大崎市鎌田記念ホールにて開催されました。年に1度、鹿島台子ども会育成連合会が主催し、20団体が15のブース作り、地元の幼児から小学生にいろいろな遊びや体験をしてもらう場となっており、今回は参加者が約800名でした。

当団は、ひとつのブースを担当して『キムスゲーム』を行いました。幅広い年代の子供たちが集まっているので、10個の品物で行いましたが、当初の想定より盛り上がり、参加した子供たちはもとより、保護者の方々にも楽しんでいただきました。保護者の皆様には、「キムスゲームは観察力と記憶力を競うゲームで、ボーイスカウトでもよく行っており、24個の品物を1分間見せて、そのうち16個以上を記憶していれば合格としています」との説明をしました。このキムスゲームがボーイスカウトに少しでも興味を持っていただければ幸いです。今後も地域の方々にボーイスカウトを知っていただくよう頑張ります。



## ボーイ&ガールスカウト交流会 in みやぎ

9月15日（土）利府町モリリン加瀬沼公園で「ボーイ&ガールスカウト交流会 in みやぎ」を開催しました。

この事業は、青少年教育団体の交流を

図る趣旨にて宮城県の後援で、宮城の子どもたちに様々な体験をする機会を提供し、スカウト運動を普及拡大させる目的で行いました。



当日は185名の参加者があり“そなえよつねに”の文字合わせにより、ボーイ&ガールの混合グループをつくり、広い加瀬沼公園でスタンプラリー方式による7つのブースをまわりながら、交流をすることができました。

また、県連盟組拡広報委員・プログラム委員による案内で、公園に遊びに来た子ども達と家族にもゲームに参加して頂き、ボーイスカウトのPR活動につとめました。

# ボーイスカウト募集中



保護者の皆様へ

なろう。一人前に。一人前って意外とむずかしい。  
自分のことは自分です。困難に立ち向かえる。  
こまってる人の助けになる。そんな自分になるために。  
そなえよつねに“ボーイスカウト”  
ボーイスカウトとは、仲間たちと自然の中で  
遊びながら、いろいろなことを身につけて、  
より良き社会人を目指す活動です。

お問い合わせ先

## ◆ 県連ホームページタスクチームからのお知らせ

自団の活動を保護者や外部の方々にお知らせするにはホームページやフェイスブック、InstagramなどのSNSが有効です。ただ、スカウト年代の保護者に向けてのアピールはスマホでも見られるフェイスブックやInstagramが特に有効です。



まだ作成していない団は広報の一環として、ぜひ作成してみてください。そして作成後はシェアして拡散しますので、県連にお知らせくださいますようお願いいたします。

Facebook の情報もご覧頂き「いいね!」「シェア!」を拡散してください。

- ◇ 県連HP <http://www.scout-miyagi.jp/>
- ◇ 県連 Facebook ボーイスカウト宮城県連盟

### ■ 編集後記

◇今年度も無事に予定のとおり、発行することができました。ご協力頂きました方々に感謝いたします。

◇2019年度は「県キャンポリー」の開催もありますので、特集を企画してより良い紙面作りと「スカウトみやぎ」が加盟員増加のための、ツールに成るよう委員一同で務めたいと思います。

K・S

### ■ 表紙写真説明

◇連盟長表敬訪問・光のページェント  
・サンタの杜の物語・WB研修所

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■発行者 理事長 和田剛和

■編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 佐竹孝喜

委員 鈴木美恵子 松本康男

富士原孝一 千葉有二

柿沼富雄 大沼繁雄 渋谷純

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

(宮城県多賀城分庁舎内)

TEL 022-355-6265 / FAX 022-355-6267

E-mail [bs-miyagi@r6.dion.ne.jp](mailto:bs-miyagi@r6.dion.ne.jp)